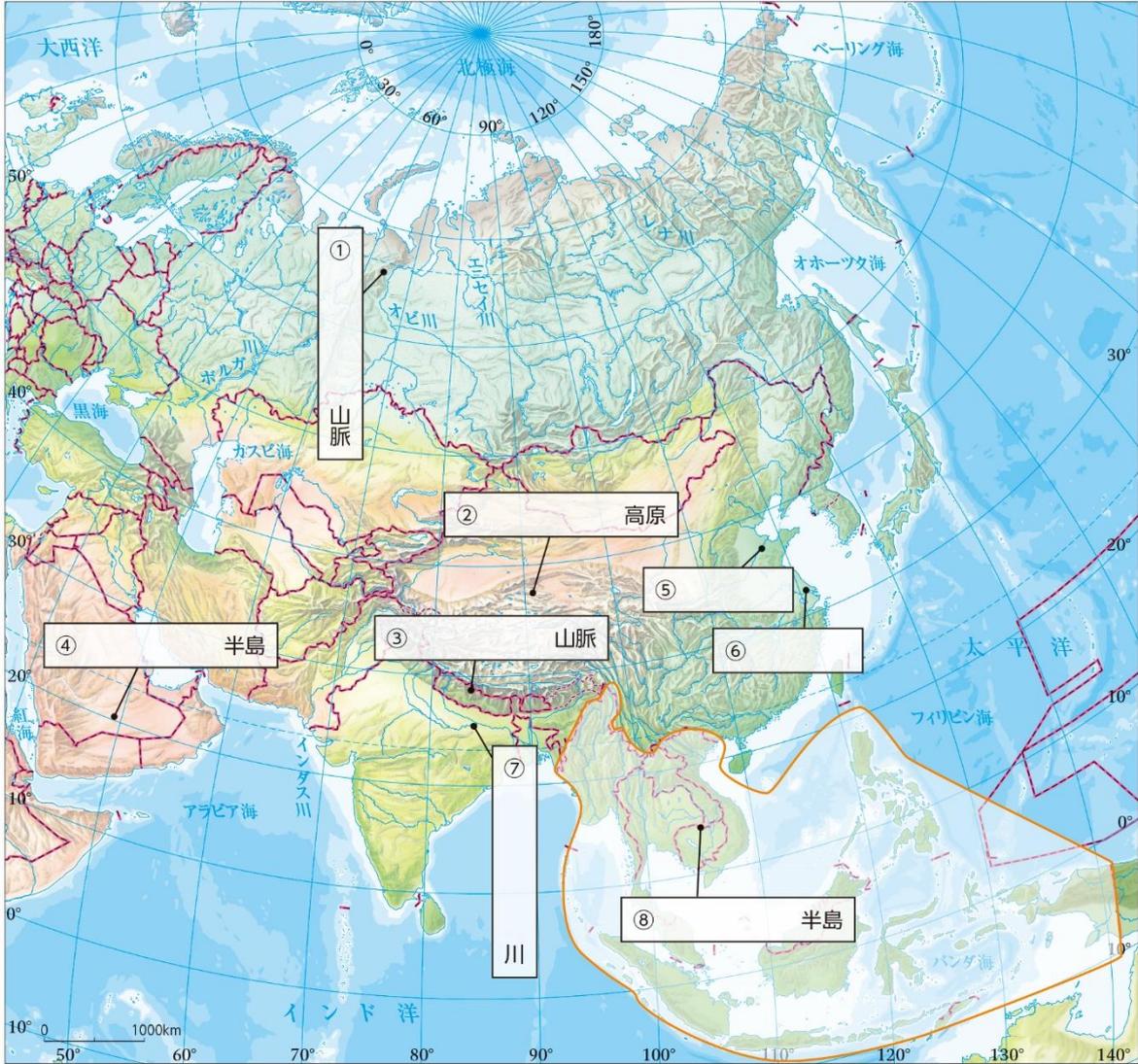


学習のまとめと表現

アジア州の学習を振り返って整理しよう

教科書対応ページ p.65(参照するページ p.50~63)

②地図を使って確かめよう。



①地図中の にあてはまる地名を書き入れよう (⑤~⑦は河川の名前)。

②地図中に、赤道を着色してわかりやすく表そう。…解答例は4ページめを参照下さい。

③地図中の の線で示された地域名を答えよう。 (**東南アジア**)

①	ウラル山脈	②	チベット高原	③	ヒマラヤ山脈	④	アラビア半島
⑤	黄河	⑥	長江	⑦	ガンジス川	⑧	インドシナ半島

③表現しよう。

①【アジアの農業】中国、東南アジア、南アジアの農業の特徴^{とくちょう}についてまとめ、それぞれの共通する点^{こと}、異なる点をあげてみよう。 ↓(解答例) ※教科書 p.55,58-61 を振り返りながら。

中国⇒ 東部は農業が盛んで、さらに北から、とうもろこしなどの畑作が中心の東北地方、小麦の畑作が中心の華北地方、稲作が中心の華中・華南地方に分かれる。西部は乾燥が著しく、牧畜が中心である。

東南アジア⇒ 水田やプランテーションによるさまざまな作物栽培が行われ、バナナやコーヒーなどの輸出も盛んである。

南アジア⇒ ガンジス川の中流域やインド東部では稲作、インダス川の中流域はかんがい施設による小麦などの穀倉地帯となっている。また、茶などの輸出向けの作物栽培や繊維産業の原材料となる綿花、ジュートなどの栽培が盛んである。

【共通点】 季節風による温暖な気候と豊富な降水量を利用した農業が中心である点。

【異なる点】 放牧のし過ぎによる砂漠化や農地の拡大による土壌流出などの環境問題(中国)、輸出向けの大規模な作物栽培(東南アジア)、巨大な人口を支える食料や輸出向けの作物の栽培(南アジア)など、アジア各地で多様に富んでいる。

②【アジアの工業】韓国^{かんこく}と中国^{はってん}の工業の発展について、それぞれ特色をまとめよう。

↓(解答例) ※教科書 p.52-53,56-57 を振り返りながら。

韓国⇒ 必要な原材料や工作機械などを外国からの輸入に頼りながら、組み立てや加工を中心に大量生産した製品を、外国に輸出するなどして工業化を進め、国際競争力を高めてきた。

中国⇒ 国内に経済特区などを設け、外国企業を招いて高度な技術や資金を導入し、技術を学びながら経済を発展させていった。

③【日本との関係】サウジアラビアと日本の貿易について調べて、50字以内でまとめよう。

(解答例) →

日	本	は	自	動	車	や	鉄	鋼	な
ど	の	重	工	業	製	品	を	輸	出
し	,	原	油	や	液	化	石	油	ガ
ス	な	ど	の	資	源	を	多	く	輸
入	し	て	い	る	。				

④意見^{こうかん}を交換しよう。

*アジア各地について、なぜ経済が発展したのか^{けいざい}分担^{ぶんたん}して調べ、それぞれの特徴をまとめよう。また、その結果をもとに、経済発展に欠かせないものは何か、話し合ってみよう。

地域名	経済が発展した理由（解答例）
東アジア (p. 52-53)	韓国の工業化が成功した背景には、政府の積極的な政策があった。銀行にはたらきかけて大企業が資金を借りやすくし、働く人の賃金を低くおさえ、国際的な競争力をもつ安い製品を生産できるようにした。
中国 (p. 54-57)	中国では、1970年代末に政府が決めた計画に従った農業や工業の生産から、農民や企業が自主的に活動できるように改革したことで生産力が高まった。また、沿海部に税金などの負担を軽くした経済特区を設けて外国企業を招き、外国企業のもつ高度な技術や資金を得て、技術を学びながら経済を発展させることに成功した。外国企業の進出が1990年代から活発になり、中国の工業生産が増加し、中国は「世界の工場」とよばれるようになった。
東南アジア (p. 58-59)	東南アジアの数か国では、1980年代ごろから外国企業を招くために、税金を軽くするなどの政策をとった。進出した外国企業は、現地の人々を低い賃金で雇うことができたために、日本など各国は工場を建設して衣類や電気製品などを製造し、輸出するようになり、工業化が進んだ。また、ASEANによる経済協力で地域内の貿易が盛んになり、各国で製造した部品がやり取りしやすくなって生産活動が活発になった。
南アジア (p. 60-61)	南アジアでは、インドがイギリスの植民地であった時代に近代的な工業が始まっていた。安くて豊富な労働力や原材料によって生産費をおさえることができるという有利な条件に引かれた外国企業は工場を進出させ、生産と輸出が活発に行われるようになった。近年、特にインドは理数教育の重視、技術力の高い労働者の豊富さ、イギリス植民地時代の名残で英語を話すことのできる労働者が多いこと、賃金水準が低いなどの好条件から、情報通信産業が発展している。
西アジア・ 中央アジア (p. 62-63)	西アジアから中央アジアにかけての大きな油田が分布する地帯に位置する国々では、国有会社が独占的に石油の生産と販売を行い、石油によって大きな利益を得ている。こうしたいくつかの産油国では、石油によって得た収入によって近代的な都市が建設されている。こうした産油国では、経済発展による労働者不足となり、アジアやアフリカ各地から出かせぎのための労働者が増えた。

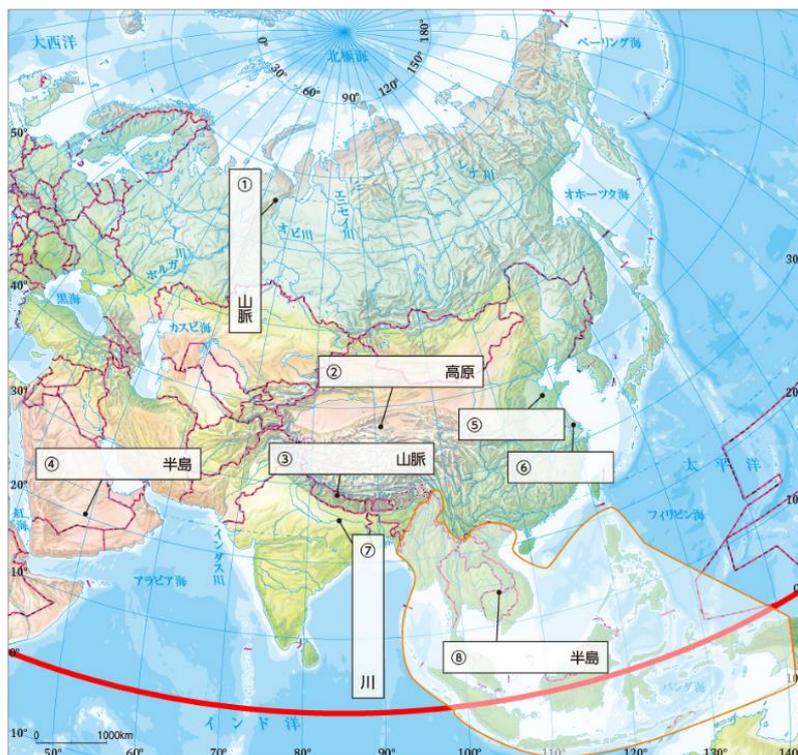
掲載されている解答は、一つの例です。
自分の解答が正しいか気になった場合は、
先生に質問してみましょう。



まっぴんぐま

p.65 の「②地図を使って確かめよう」②の解答例

②地図中に、赤道を着色してわかりやすく表そう。



赤線：赤道

(着色する色については、問いません。適宜お選び下さい)